

ごうつ社協

第195号

令和7年12月1日発行

社会福祉法人 江津市社会福祉協議会

(本 所) 〒695-0011 江津市江津町1518番地1 パレットごうつ2階
TEL (0855) 52-2474 FAX (0855) 52-2308
ホームページアドレス <https://gotsu-syaky.jp/>
E-mail info@gotsu-syaky.jp

(桜江連絡所) 〒699-4226 江津市桜江町川戸11番地1
TEL (0855) 92-1450 FAX (0855) 92-0205
E-mail sakura-s@iwamicatv.jp



今年も10月1日(水)から赤い羽根共同募金運動が全国一斉にスタートしました。初日、中村市長と地域の方々にご参加いただき、ゆめタウン江津で開会セレモニーと街頭募金を行いました。(マスコット犬のインディとステラも参加) 10月25日(土)にはサンピコごうつ、ジュンテンドー江津店、キヌヤ二宮店でそれぞれ街頭募金を行いました。1日と25日の両日で**50,755円の心温まる募金**が寄せられました。ご協力いただきありがとうございました。



インスタやってます！
日々の活動状況やお知らせなどを載せていますので、ぜひご覧ください！

ホームページにも
随時最新行事を掲載中!!





おめでとうございます

～ しまね県民福祉大会 ～



9月27日（土）島根県民会館において令和7年度しまね県民福祉大会が開催され、受賞者及び福祉関係者11名で参加しました。この大会において、多年にわたる各種福祉活動への功績が認められ、表彰及び感謝状を贈呈されました。

第2部の講演では、『「阪神・淡路大震災」から30年 激甚化・頻発化する気象災害に備える』と題して、気象予報士の天達武史氏を講師とし、昨今の豪雨災害等の気象災害は、地震と違って事前に備えることができる、必ず、予兆があることを話されました。江津市でも幾度の豪雨災害を経験していることから、災害に備えることの重要性について再認識することができ有意義な講演会となりました。

最後に、大会宣言決議文において、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現を目指すことを誓いました。

★島根県知事感謝

●共同募金運動功労者

松浦 元則（江 津 町）

●民生委員・児童委員功労者

佐々木康子（都 野 津 町）

★島根県社会福祉協議会会長表彰

●民生委員・児童委員功労者

鹿森偉左雄（二宮町神主）

大畑千賀子（桜江町長谷）

●社会福祉施設・団体等役職員功労者

梶川 勇（桜江町小田）

佐々木幸恵（都 野 津 町）

●永年勤続功労者

大崎 慎吾（桜江町八戸）

★島根県民生児童委員協議会会長表彰

●永年勤続民生委員・児童委員（10名）

小林千代恵、佐々木義幸、浦田 悦子、渡邊文二郎

高橋百合子、仲麻 武子、武本 靖、波北 恵理、

森下 宴子、甲山 芳洋

★島根県身体障害者団体連合会会長表彰

●一般功労者

花田 千恵（千 田 町）

★島根県児童入所施設協議会会長表彰

●永年勤続功労者

寺本 洋（西部島根医療福祉センター）

焼杉ゆかり（西部島根医療福祉センター）

川島 芳樹（西部島根医療福祉センター）

受賞者の声

この度、栄えある表彰をしていただき、大変嬉しく思います。また、表彰式に出席し、受賞の喜びを実感しています。

もちろん、この賞は私一人ではなく、これまで助けていただいた関係者や周囲のみなさまのおかげと感謝しています。

組織を立ち上げる時は不安だらけでしたが、子育て中の親子さんの気持ちに寄り添いながら一緒に考え、きめ細やかな子育て支援と人と人との繋がりを大切にしてきたことが良かったのだと思っています。

今後は、後進の方が私たちの思いを引き継いで活躍されることを願っています。

また、この表彰を受け、私もこれから自分ができることを続けていきたいと思っています。

NPO法人ちゃいるどりーむ（江津市子育てサポートセンター） 佐々木 幸恵 さん



参加された皆さん

＝ 福祉意識の高揚を目指して ＝ 江津市総合社会福祉大会



地域福祉活動実践発表を行い、3団体よりそれぞれの地域での取組について発表されました。

(内容については、4ページに掲載しています。)

令和7年度江津市総合社会福祉大会を、11月5日(水)約230人の参加により江津市総合市民センター大ホールで開催しました。

今年度の大会は、第1部で式典(表彰式)を行い、藤田和雄大会長から、多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々に表彰状を授与され、また、労力的、経済的などの方法によって社会福祉活動へ積極的に協力された方々に感謝状が贈呈されました。

被表彰者を代表して高橋百合子様が謝辞を述べられ、最後に鹿森偉左雄民生児童委員協議会会長による大会宣言で閉会となりました。

第2部では、



◆ 江津市総合社会福祉大会会長表彰 (16名) ◆

1. 社会福祉功労者 (3名)

神 山 哲 夫【浜田地区保護司会江津分区 総務部 部長】(嘉久志町)
岡 田 美 紀【元松川ボランティア会 会 長】(松川町太田)
梅 谷 定 治【江津市社会福祉協議会市山支会 啓発部 部長】(桜江町市山)

2. 民生委員児童委員功労者 (11名)

小 林 千代恵【敬川支部】(敬 川 町)	佐々木 義 幸【和木支部】(和 木 町)
浦 田 悦 子【高浜支部】(江 津 町)	渡 邊 文二郎【高浜支部】(江 津 町)
高 橋 百合子【本町支部】(江 津 町)	森 本 猛【本町支部】(江 津 町)
仲 麻 武 子【渡津支部】(渡 津 町)	武 本 靖【黒松支部】(黒 松 町)
波 北 恵 理【波積支部】(波 積 町 北)	森 下 宴 子【市山支部】(桜江町今田)
甲 山 芳 洋【川越支部】(桜江町川越)	

3. 老人福祉功労者 (2名)

渡 津 長田万寿会 砂 田 千代子(渡 津 町)
谷住郷 すみえ福寿会 山 口 忠 幸(桜江町谷住郷)

◆ 江津市社会福祉大会会長感謝状贈呈 (4名) ◆

番 匠 義 則【嘉久志子どもを見守る会】(嘉久志町)
佐々木 邦 男【嘉久志子どもを見守る会】(嘉久志町)
藤 田 豊【黒松こまりごと救援隊】(黒 松 町)
澤 井 美恵子【済生会ボランティアグループ水仙の会】(嘉久志町)



地域福祉活動実践発表



笑みサポーター講座「みんなちがってみんないい」って?!

都野津町づくり協議会

事務局長 南 口 修 氏

笑みサポーター講座とは、定期的
に開催され、学びたいときに自由
に参加でき、時には、町民が講
師になることもある。また、グ
ループに分かれての意見交換やそ
れぞれの“気づき”を大切に、ゆ
くゆくは、町民全員が笑みサポーターを目標にしている
等、この講座を通じて人と人とのつながりを大事に

**誰もが安心して住み続けられる
町づくりを目指して!!**

これからも続けていきたいと発表されました。



講座の様子



走れ！ さくらえ買い物バス

桜江地区民生児童委員協議会

副会長 大 畑 千賀子 氏

桜江地区では、商店の減少や運
転免許の自主返納等により、買い
物に“不便”を感じる高齢者の生活
利便性向上のため、福祉バスを利
用しての買い物バスが今年度より
本格的に実施されています。昨年度までの試運転の中から
見えてきた課題を検証しながら改善を重ね、さらに民生委
員児童委員が携わることで、住民の声を聞き、事業に反映
できる強みがあると話され、地域の実情にあわせて創意工
夫しながら、“安心して楽しめる買い物バス”を目指してい
きたいと決意を述べられました。



支払い中の利用者を
見守る民生委員児童委員



地域有償ボランティア黒松こまりごと救援隊の活動について

黒松こまりごと救援隊

会長 舟 木 一 男 氏

令和元年に黒松地域の住民のこ
まりごとの解決に協力し、住みよ
い町づくりを目指して発足。草刈
りや墓守、空家の管理などの支
援内容や利用者・隊員の状況等、
立ち上げから現在の状況までを詳しく説明されました。ま
た、事務局も黒松地域コミュニティ交流センター内に置か
れ、地域全体で支え合う仕組みとなっており、現在も60代
～80代の隊員が活動中です。

最後に高齢化による隊員減少のため、新しい隊員の参加
が課題であると切実な思いを伝えられました。



法面の草刈作業の様子

映画「砂の器」50周年と権利擁護

日本福祉大学中央福祉専門学校 校長 長岩 嘉文 さん

「島根県」と聞いて私が真っ先に連想するのは、絶賛放映中のNHKの朝ドラ「ばけぼけ」や出雲大社、石見智翠館高校等ではなく、奥出雲が舞台の映画「砂の器」です。かつて社会派の推理作家として人気を博した松本清張の同名小説を1974年に映画化したこの作品は、当時、多くの視聴者に感動を与えましたが、50年を経た今でも稀に上映する映画館があるほどの名作です。キャスティングは、オールドファンには懐かしい丹波哲郎、緒形拳、加藤剛、加藤嘉、渥美清、島田陽子（いずれも故人）、森田健作、山口果林等であり、当時を思えばかなり豪華な俳優陣です。

では映画「砂の器」が、権利擁護とどう関係するのか？このことをじっくり考えてもらうには改めてDVD等で映画を観てもらう必要がありますが、原作にはわずか数頁しか登場しないハンセン病（らい病）がこの映画のモチーフになっている点が重要です。作中に福祉関係者は登場しませんが、ハンセン病を患い故郷を追われて放浪する父親とその子どもの救済に関わった唯一の人物として三木巡査が登場します。三木はこの父子に親身に寄り添い、巡査としてのみならず一人の人として懸命に善後策を講じます。治療を優先すべき父親を療養所に送り、父親の病気を理由に引き取り手のなかった子どもを自ら引き取り、わが子のように大事に育てるシーンが映画の中で描かれています。彼の働きがあったからこそ父親は療養所で生き続け、子どもはやがて音楽家としての名声を手にするに至りました。三木は巡査を退職した後も、療養所で暮らす父親を気にかけて励ましの手紙を送り続けるような人情味のある人物で、彼の「善行」は今日的に言えば父子に対する権利擁護の実践として評価され得ます。

しかし福祉に携わる者には、三木が親身になって行った救済が、救済を受けた当事者（父子）には必ずしもそう解釈されなかったおそれに気づく感性が必要です。それは三木の「善行」にはパターンリズム（温情主義、父権主義）的な一面が垣間見えるからです。映画の中で三木が父親に対して子どものためにも療養所に入ることを強く説得するシーン。そして、その経過を子どもに十分説明することなく（少なくとも映画のシーンにはない）、本当の意味で父子が納得して別離を受入れるための努力を怠った点などは冷静にみておくべきです。自分が救済対象として捉えている相手が、たとえ小さな子どもであっても人格を有する人間であるという認識が足りず、保護的に関わってしまう三木の姿勢は、権利擁護の実践に潜むパターンリズムです。

故郷を追われた父子が放浪した昭和初期には、ハンセン病（らい病）患者を国辱として根こそぎ療養所に強制隔離するという「無らい県運動」の嵐が「国策」によって吹き荒れていました。当時は医学的には誤った政策であったとしても「国策」に抗うことは容易ではなく、行政はもとより医療・福祉に携わる専門職や方面委員を含んだ多くの地域住民が、こぞって「無らい県運動」に協力しました。こうした負の歴史的事実は、権利擁護をラディカルに考える上でも学び継がれるべきです。

映画「砂の器」は、50年を経た今も権利擁護に連なる職業倫理や社会正義を考える素材を提供してくれると思うのです。



みんなの情報カフェ vol.2 開催レポート

【令和7年9月5日(金)】



黒松こまりごと救援隊の発表



サロンかわど・こしかけの発表



生協しまねの発表

「みんなの情報カフェ」は、社協支会、まちづくり協議会、民間企業などの多様な主体が取り組む活動について、その内容や課題などを共有し、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なことを考え、話し合い、次のアクションにつなげることを目的にしています。今回が2回目の開催となりました。

事例発表では、住民による有償ボランティア団体『黒松こまりごと救援隊』、旧JR三江線川戸駅で13年活動している『サロンかわど・こしかけ』、企業からは夕食弁当の配達なども手掛けている『生活協同組合しまね』から、それぞれの取り組みについて発表していただきました。

発表後の情報交換の時間では、参加者が発表者に問い合わせをしたり、参加者同士で意見交換をしたりして、さながら“にぎやかなカフェ”のような雰囲気でした。



会場全体と意見交換の様子(35名の参加がありました)



資料を見ながら発表を聞いています



サロンかわど・こしかけの展示をしました

災害ボランティアセンター 運営強化を目指した職員勉強会



9月4日（木）、島根県社会福祉協議会地域福祉部の方を講師としてお招きし、災害ボランティアセンターの運営強化を目的とした職員の勉強会を実施しました。今回の勉強会では、今年、島根県内の社協で正式導入された災害ボランティアセンター運営支援システムkintone（キントーン）の基本的な操作や活用方法を学びました。このkintoneは、災害ボランティアセンターの運営を円滑に行うためのシステムで、被災者のニーズ状況やボランティアの参加状況など様々な情報を一元管理することができます。これまで用紙で管理していた情報をクラウド上で行うことで迅速に情報の共有ができ、業務の効率化が図れます。事務作業の手間が省けることで職員の負担軽減に繋がることも期待されます。災害発生時に質の高い支援ができるよう今後も内部勉強会を実施していきます。

総合交流スポーツ大会 (江津市老人クラブ連合会 主催)

スポーツを通じて会員間の交流と健康増進を図るために、江津市老人クラブ連合会の主催により「総合交流スポーツ大会」が9月26日（金）100名の会員たちが集い、江津市民体育館において開催されました。

クラブの休会や会員数の減少により3色に組分けをしての開催が出来なくなり、昨年からは江津地区、桜江地区と2色に分かれ、また今年度から各地区の会員外の方にも参加を呼びかけ開催し、江津地区が優勝、桜江地区は2位という結果でしたが、参加者にとっては競技の結果よりも、参加する喜びと人とふれあう喜びを感じる一日になりました。老人クラブでは、高齢期における生活が豊かなものとなるよう、健康寿命を延ばし、「健康」「友愛」「奉仕」を基本とする活動や他にも様々な活動を行っていますので、一緒に活動しませんか。加入を希望される方はお気軽に地域の老人クラブまたは江津市老人クラブ連合会事務局へご連絡ください。（TEL52-2474）



タイ釣り競争

有償ボランティア生活支援まごころフレッシュサービスの 協力会員を随時募集しています。



江津市ボランティアセンターでは、高齢者の方から自宅の掃除に関する多くの相談に対応出来るように

**トイレ・風呂・室内掃除
家内掃除のできる方を急募しています。**



興味のある方は、電話（0855-52-6100）江津市ボランティアセンターまでお問い合わせください。

●生活支援まごころフレッシュサービスとは？

住民同士の助け合いを基本として、在宅での日常生活支援、援助を必要とする人や、子育て家族の就労支援体制を含めた負担を軽減するための会員方式の在宅福祉サービスです。

ご寄附ありがとうございました

—地域福祉のために大切に活用させていただきます—

●香典返し寄附金（玉串料寄附金）

9月1日から10月31日受付分まで・順不同 ※（ ）内の氏名は故人

二宮町

押越 さやか 様（押越芳亜紀 様）

野上 礼司 様（野上 厚子 様）

敬川町

佐々木 郁枝 様（佐々木千恵三 様）

都野津町

佐々木 鋼一 様（佐々木ノブ子 様）

岡 俊秀 様（岡 数子 様）

佐々木 賢一 様（佐々木サカエ 様）

嘉久志町

田中 敬通 様（田中 照代 様）

江津町

柿田 洋 様（柿田 烈司 様）

渡津町

小松 泰栄 様（山藤 博子 様）

大原 ミキコ 様（大原喜八郎 様）

後地町

田畑 忠洋 様（田畑 徳幸 様）

桜江町

島田 長弘 様（島田 典子 様）

井川 道也 様（井川キクミ 様）

安田 由美子 様（安田 秀子 様）

渡邊 浩行 様（渡邊フクヨ 様）

二宮町（江津町）

小川 英昭 様（小川 豊 様）

浜田市（井沢町）

横田 耕造 様（横田イハノ 様）

浜田市（桜江町）

大石 孝幸 様（大石カホル 様）

広島県（二宮町）

奥井 正浩 様（奥井 諒 様）

大阪府（桜江町）

尾前 勝行 様（尾前 時枝 様）

●一般寄附金

桜江町 坂越 淳則 様

浅利町 浅利フリーマーケット実行委員会 様

益田市 西日本歌謡文化講座 水津 啓一 様

●フードバンク食品寄贈（団体）

ゆめタウン江津 様

西教寺「はちすの会」 様

明治安田生命労働組合 様

令和7年度 福祉ふれあい チャリティーバザーを 開催します。

日時 12月7日(日) 9:30～14:00

会場 江津市総合市民センター・2階大会議室

主催 江津市社会福祉協議会、江津市共同募金委員会

協賛 江津市、福祉関係団体

※今年はコロナ禍以前の規模で実施します。



民生委員・児童委員一斉改選のお知らせ

令和7年12月1日付けで、民生委員・児童委員の一斉改選が行われます。

民生委員・児童委員は、民生委員法及び児童福祉法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された地域福祉を担うボランティアです。

同じ地域で生活する住民の一員として、住民から様々な生活上の困りごとや心配ごとに関する相談に応じ、必要な支援を受けられるよう、地域の専門機関への「つなぎ役」としての役割を担っています。

任期は3年間で、令和10年11月30日までです。

民生委員・児童委員名簿については、江津市ホームページに掲載されているほか、今後広報かわらばん1月号に併せて全戸配布される予定です。



法律相談【弁護士】（要予約）

12/11(木) 13:00～15:00（江津会場）

1 / 8(木) 13:00～15:00（江津会場）

福祉相談【担当職員】

月曜～金曜（祝日は除く）9:00～16:00（江津会場）

一般相談【司法書士・民生委員等】（要予約）

12/16(火) 9:45～12:00（桜江会場）

12/19(金) 9:00～12:00（江津会場）

1 / 23(金) 9:00～12:00（江津会場）

※江津会場⇒江津市社会福祉協議会

（江津ひと・まちプラザ“パレットこうつ”2階）

※桜江会場⇒桜江総合センター3階トレーニングルーム

（江津市社会福祉協議会桜江連絡所の隣）

◎相談は無料です。また、相談により知り得た秘密は固く守られますので、安心してご相談ください。

◎福祉相談については、担当者不在の場合もありますので、なるべく事前に電話等でご相談ください。

◎感染症の流行状況によっては、中止や開催方法の変更（電話相談など）を行う場合があります。

「ふれあい福祉センター総合相談所」

【予約・お問い合わせ先】

TEL (0855) 52-6710

FAX (0855) 52-2308